



## ソフトバンクBBがReflection for IBMを導入

今回ご紹介する「Reflection for IBM」はIBM iSeries (AS/400) / zSeries (メインフレーム) にPCからのアクセスを可能にするIBM5250及び3270端末エミュレータソフトウェアです。エミュレーション以外にホスト業務を行う上での様々な付加価値機能が盛り込まれています。日々の作業でよく利用するコマンドを登録しマウスだけで操作可能にすること、IBM5577系の専用プリンタだけではなく通常のオフィスプリンタでの帳票印刷が可能など、ホスト業務をWindowsPC環境で実現するための多くの利点があり、数多くの企業で利用されています。

今回はこの「Reflection for IBM」を導入されているユーザー様の中から、2005年3月に流通事業本部へ1,000ライセンス導入されたソフトバンクBB株式会社（本社：東京都港区、代表 孫 正義氏）をご紹介します。ソフトバンクBBは、ブロードバンドサービス「Yahoo! BB 光」と、各種コンテンツサービスの提供、技術開発、販売、サポートを行っています。また、IT関連の流通事業とサービスを提供し、ブロードバンドやイーコマースの関連事業会社を統括、管理しています。

## Reflection for IBM 採用までの経緯

『事業拡大と社員の大幅な増加に伴うライセンスの追加を機に、エミュレータの変更を検討』

ソフトバンクBBでは今後の事業拡大と、それに伴う人材の強化に当たり、2004年から2005年にかけて、大幅な人員増加をいたしました。それに伴い、今まで利用していたエミュレータの追加が必要になりましたが、サポートに不満があった為この機会に他のエミュレータも検討されました。複数製品を比較検討した結果、Reflection for IBMを採用することに決定しました。

## お客様へのインタビュー

『Reflection for IBM 選択のポイント』とは？

ポイント①「今までと変わらぬ利用方法」

エミュレータ製品選択時の最大のポイントは、「エミュレータを変更しても、利用方法並びに操作感が変わらないこと」でした。社員の方は「IT-EXchange」（ITプロダクトのサプライチェーンを構築する「IT-EXchange」は、ソフトバンクBBが提供する最先端のBtoBWebサイトです。国内外4,000社のお取引先、約24万品目に及ぶIT関連商品をWebベースで24時間購入が可能です。）のサイト内からエミュレータを利用していました。そこでReflection for IBMの特徴の1つであるURLからエミュレータを起動するという機能により、今までと変わらぬ利用方法をユーザへ提供することを容易に実現できました。Reflectionの持つユーザ視点に立った付加価値機能により要望を実現できたことは、エミュレータ選定の大きなポイントになりました。

ポイント②「導入から一貫したサポートサービス」

さらに、選択の際に重要だったポイントとして、サポートサービスが挙げられました。製品そのもののサポートはもちろんのこと、実導入フェーズに際しては必須要件のヒアリングから始まり、事前作業としてデバイス名の入ったファイル（PC1,000台分）作成の自動化、社員番号を入力することで固有のファイルをローカルディスクに落とす仕組みなど、さまざまな側面から必要不可欠な作業をサポートしました。



情報システム・CS・法人統括・  
情報システム第1本部  
流通システム部 流通システム課  
松田氏

「本当にサイバネットシステムさんのサポート力には敬意を表します。サイバネットさんは製品機能紹介にとどまらず、製品導入の側面でも私どもの立場に立って問題解決型に徹して対応頂きました。」

ポイント③「表示画面カスタマイズによるコスト削減」

Reflectionが高い評価を得たポイントはエミュレータのユーザインタフェースを自由に取捨選択し画面カスタマイズできる点でした。

「フレキシブルな画面カスタマイズによって、予め不要な機能を削除することで、ユーザサポートコスト増を抑えることが出来ました。また、既存エミュレータと同じような画面に出来るので、エミュレータを変更しても教育する必要が最小限に抑えられる点は高評価でした。」

ポイント④「導入作業の負担を軽減する配布機能」

今まで使っていたエミュレータの乗換を決定する上で大きな不安だったのは、導入作業やユーザへの設定方法の案内など多くの工数を必要とすることと、PC1,000台分のソフト入替作業の発生でした。しかしReflectionの持つカスタム設定マネージャが工数削減に大きく貢献しました。

「予め管理者が決めた設定（表示メニューのカスタマイズ、利用させたくない機能の削除）でインストールさせる事を可能にしたので設定方法の案内は不要になり、また導入方法としても「IT-EXchange」内のURLクリックによる自動インストールを可能にした点は、導入作業の大幅な削減となりました。」

ポイント⑤「既存プリンタの活用」

「印刷に関して問題なく対応した点も見逃せません。」と同氏は続けます。「現状利用している帳票／プリンタへの印刷はもちろんのこと、ReflectionはWindowsのプリンタドライバを使用できるのでIBM5577系プリンタ以外のオフィスプリンタからの印刷も可能になりました。今後、プリンタへの投資を抑え、資産の有効活用が可能になる点も魅力的でした。」

購入可能なクライアントOSがWindowsXPになった昨今、既存のエミュレータのバージョンアップを検討する必要が生じ、この機会にエミュレータの変更を検討するお客様が増えています。既存のネットワーク環境を生かし更にその管理コストを削減することのできるReflectionへのニーズは今まで以上に高まっています。一般的に日本企業は、その導入実績よりメーカー純正のソフトウェアを選択されるケースも少なくありません。しかしソフトバンクBBは、経営効率や合理性を追求された結果、ReflectionというROIの非常に高いソリューションを導入されました。世界のソフトバンクBBが選択された製品ということは、Reflectionは世界一流のソリューションの証といえましょう。

本記事に関するお問い合わせは、ネットワークソリューション部営業第1グループまでお願いいたします。  
(TEL: 03-5978-5453, E-Mail: rinfo@cybernet.co.jp)